

聴覚障がい児のためのチャリティー映画会

ヒマラヤ山脈、
標高4800メートルにある
秘境ルナナ村に響くブータン民謡。
都会から来た若い先生と、
村の人たちと子どもたちの
心の交流を描いた感動作。

ブータン 山の教室

監督・脚本：パオ・チョニン・ドルジ

出演：シェラップ・ドルジ、ウゲン・ノルブ・ヘンドウツプ、
ケルドン・ハモ・グルン、ベム・ザム

Lunana A Yak in the Classroom

2025年

6月7日(土)

14:00開演(開場13:30)

(本校児童・生徒による歌・引き続き本編上映1時間50分)

青山学院講堂〈青山キャンパス内〉

会員券:指定席2,000円／自由席1,600円

郵便振替およびお電話・ファックス・右記QRコードにてお申し込みください。

TEL.042-735-2361 FAX.042-734-8292(きこえの学校 ライシャワー学園) 郵便振替 00130-7-52121

◎主催／きこえの学校 ライシャワー学園チャリティー映画会実行委員会 ◎後援／朝日新聞厚生文化事業団 ◎協力／アダージェット



本校児童・
生徒による
歌の発表が
あります。

▼お申し込みQRコード



補聴器着用聴覚障がい者の
方々のために磁気ループ席
を用意しております。

秘境の地で、伝統を守りながら生きる人たち 思いがけない場所で見つけた、生きることの喜び

STORY

ヒマラヤ山脈の標高4800メートルにある実在の村ルナナを舞台に、都会から来た若い教師と村の子どもたちの交流を描いたブータン映画。ミュージシャンを夢見る若い教師ウゲンは、ブータンで最も僻地にあるルナナ村の学校へ赴任するよう言い渡される。1週間以上かけてたどり着いた村には、「勉強したい」と先生の到着を心待ちにする子どもたちがいた。ウゲンは電気もトイレトペーパーもない土地での生活に戸惑いながらも、村の人々と過ごすうちに自分の居場所を見だしていく。本作が初メガホンとなるブータン出身のパオ・チョニン・ドルジ監督が、村人たちのシンプルながらも尊い暮らしを美しい映像で描き、本当の幸せとは何かを問いかける。第94回アカデミーでブータン映画史上初となる国際長編映画賞ノミネートを果たした。



2025年4月に日本聾話学校からきこえの学校 ライシャワー学園と校名を変更して新たなスタートを切りました。本校は日本で唯一の基督教精神による手話を使わない私立聾学校です。デジタル補聴器や人工内耳によって、子どもたちに残された聴力を最大限に活用し、心からの対話を重視した『聴覚主導の人間教育』を行っています。これにより子どもたちはそれぞれ、明るく・やさしく・たくましく・そして本当に賢くしっかりした人間に育っています。

●お問い合わせ



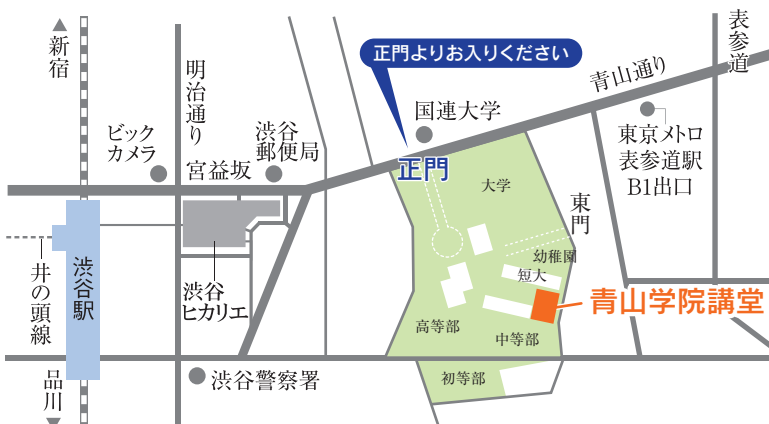
学校法人 日本聾話学校

きこえの学校 ライシャワー学園

〒195-0063 東京都町田市野津田町1942

TEL.042-735-2361(代) FAX.042-734-8292

<https://nrg.ac.jp/>



《会場案内》

今年は会場が変更になります。

青山学院講堂へのアクセス方法
(青山キャンパス内)

- JR山手線、東急線、京王井の頭線
「渋谷駅」宮益坂方面の出口より
徒歩約10分
- 東京メトロ「表参道駅」B1出口より
徒歩約5分

※駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。